

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和7年度技術情報第10号(イチゴのハダニ類)について (送付)

イチゴのハダニ類について、下記のとおり取りまとめましたので、周知およびご指導を
よろしくお願いいたします。

なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ (<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>) にも掲載しています。



令和7年度 技術情報第10号

今年は梅雨明けも早く、乾燥状態が続いていることから、7月中旬のイチゴのハダニ類の発生
ほ場率が90%と高くなっています。既に発生を確認しているほ場では、ハダニ類を本ぽに持ち込
まないよう、防除を徹底してください。

1 対象病害虫 ハダニ類 (ナミハダニ, カンザワハダニ)

2 対象作物 イチゴ (子苗)

3 情報の内容

- (1) 発生地域 県本土
- (2) 発生量 多

4 予報の根拠

- (1) 7月の発生ほ場率は90% (平年30%) と高く、過去10年間で最も高い状況となっている
(図1, 2)。
- (2) 発生程度は多くのほ場で少発生であるが、中発生も認められている (表1)。今後とも増
加が懸念されるため、子苗の防除を徹底し、本ぽへの持ち込みを防ぐ。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 密度が増加してからの防除は困難なので、早期防除に努める。農薬は散布ムラのないよう
に、葉裏まで丁寧に散布する。
- (2) 農薬によっては感受性が低下しているので、散布後は防除効果を確認する。
- (3) 作用性の異なる農薬 (RAC コード参照) のローテーション散布を行う。

6 参考データ

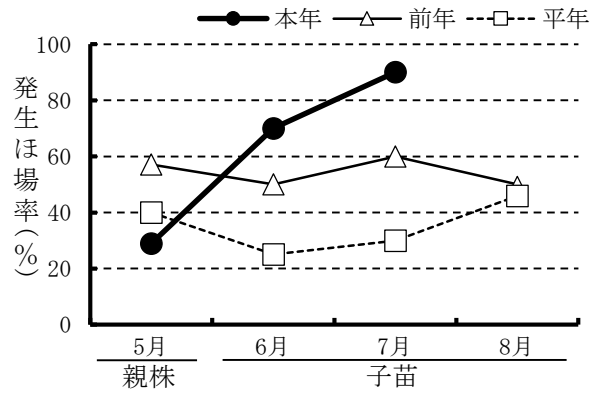


図1 ハダニ類の発生ほ場率 (イチゴ苗床)

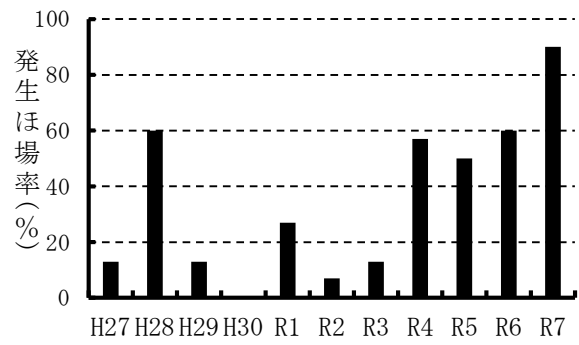


図2 ハダニ類発生ほ場率の年次推移 (7月調査)

表1 ハダニ類の子苗での発生状況調査¹⁾

調査地点	調査ほ場数	発生程度別 ²⁾ ほ場数				
		甚	多	中	少	無
日置市伊集院町	3	0	0	0	3	0
志布志市有明町	4	0	0	2	2	0
志布志市松山町	3	0	0	0	2	1
計	10	0	0	2	7	1

注1) 調査日：令和7年7月15～17日

注2) 発生程度 (寄生株率) 甚：96%以上，多：71～95%，中：41～70%，少：1～40%